

平成26年8月1日(木)発行

# 道建協とうほく

No.57

発行 一般社団法人 日本道路建設業協会  
東北支部 広報委員会



秋田駒ヶ岳は、十和田八幡平国立公園の南端に位置し、男岳・女岳・男女岳からなる標高1637mの活火山。高山植物が多く6月から10月まで多くの観光客で賑わう。

【秋田駒ヶ岳 阿弥陀池 (2014年6月)】

目

次

☆行事報告	-----	1
☆対外活動	-----	10
☆幹事会・委員会活動	-----	12
☆随想	-----	16
☆会員だより	-----	17



## 行事報告

### 1. 第66回 東北支部定時総会

日時：平成26年6月6日（金）15：00～

場所：ホテルメトロポリタン 仙台

出席会員：25社 委任会員：4社

#### 【総会次第】

##### 1) 支部長 挨拶（要旨）

- ・国の積極財政により公共工事量が增大している。反面この工事量の増大に伴い資機材、人材、技術者不足等の課題と供給不足による価格上昇が甚だしく、発注者側でもその対策として労務単価の大幅な値上げ、間接費の比率変更、インフレスライドの実施など種々の施策を実施している。また、工事の種類によっては不調・不落問題が発生し発注者側でも大きな問題となっており、発注者側からの要請により支部では原因・対策等について意見交換を行っている。
- ・技術者・熟練技能者は、これまでの公共工事が半減する中で採用人員も応募人員も減ったため高齢化が進み人材不足が顕著に表れて来ている。道路建設業の健全な発展という見地から、技術者・熟練技能者の確保は大きな課題であり、特に若年技術者の採用と中途離職を防ぐかにあり、そのためには魅力ある職場づくりが求められ、現在その施策の一つとして工事現場の土曜閉所運動に取り組んでいる。また熟練技能者の確保は短期間で達成できないが、協力会社へ給与面での設計単価アップ分の個人への還元指導や各種保険の完全加入への指導を徹底する。
- ・業界のイメージアップを図るため、道の駅へのAED寄贈や各種ボランティア活動へ積極的に参画し引続き地域貢献に取り組んで行く。



##### 2) 三好会長 挨拶（要旨）

- ・日本経済のアベノミクス効果が鮮明になり日銀も緩やかな回復との景気判断をしている。道路建設業界を取巻く環境もその効果が表れ改善の兆しが出てきた。
- ・平成26年度の予算はこれまでの長期低落・減少傾向に歯止めが掛り、また国土強靱化基本法が成立したことにより東日本大震災の復興が加速され、首都直下型や東南海地震等の大規模災害に対応する強靱なインフラ整備等が着実に推進されるものと期待をしている。
- ・一昨年の笹子トンネル事故の発生を契機に今日我が国は高度成長期に作られた社会インフラの高齢化・老朽化に伴う大改修時代を迎えていることは国民にも広く認識されている。今後の道路整備維持管理更新を確実にするためにも、予算が安定的かつ継続的に確保されることが必要不可欠です。体制を早急に整える必要がある。
- ・インフラの品質とその担い手の確保を目指し多様な入札制度の導入、ダンピング対



策、人材確保等を改正の柱とした公共工事の品質確保の促進に関する法律が成立したことは業界としても大いに期待している。当協会では長年に亘る建設投資の減少に伴う受注競争の激化によるダンピング受注の排除及び若手技術者や技能労働者が希望を持てる職場環境づくりを目的とした適正な受注活動と技能労働者の環境改善や労務賃金改善推進要綱を策定し周知した。

- ・道路建設業界が日本の将来を必要不可欠な産業として生き残るためにも、若手技術者や技能労働者が希望を持って入職できるような業界にする必要がある。そのためにも第二土曜日の事業所閉所をはじめ社会保険未加入問題等に積極的に取り組んで行く。また、発注者に対しても適正な工期の設定など協力を要請して行く。
- ・道路建設業界は多くの課題を抱えているが、道路建設業の健全な発展を図り、道路建設業界に課せられた社会的使命を果たすために一層の企業努力を行う必要がある。

### 3) 議 事

1号議案 平成25年度事業報告(案)

2号議案 平成25年度決算(案)

3号議案 役員選任の追認

4号議案 役員を選任

1号～3号の議案は全て、原案通り承認可決されました。

#### 報告事項

1. 平成26年度事業計画

2. 平成26年度予算

### 4) 講 話

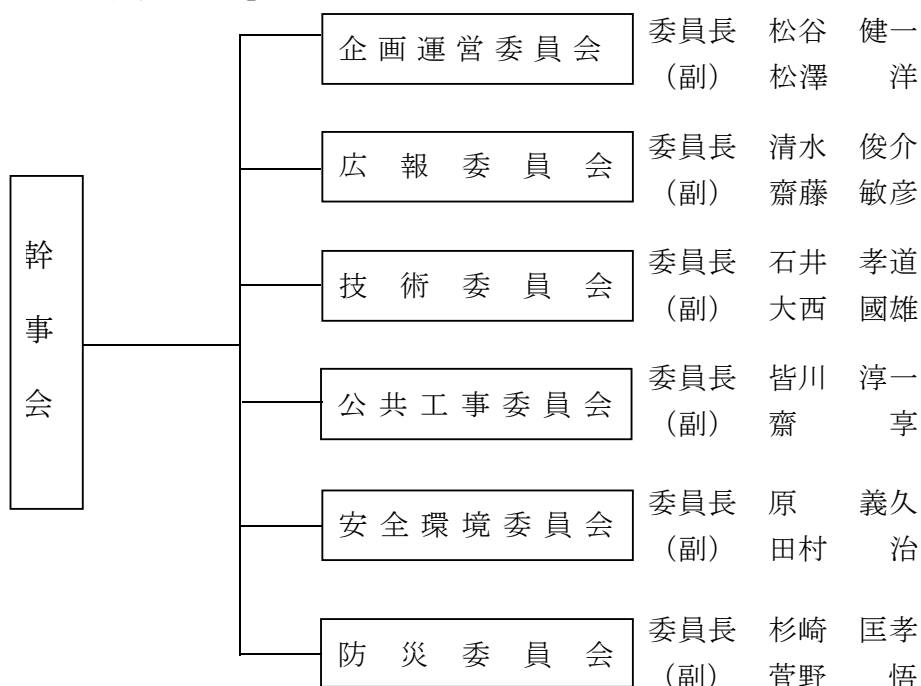
演 題： ～ おぎない合う生き方 ～

講 師： 宗教法人 みんなの寺 住職 天野 雅亮 氏

#### 【支部新役員】

支部長	松谷 健一	大林道路(株) 東北支店
幹事長	松澤 洋	(株)NIPPO 東北支店
幹 事	石井 孝道	鹿島道路(株) 北日本支店
	大西 國雄	前田道路(株) 東北支店
	小野 利廣	福島県南土建工業(株)
	菅野 悟	日建工業(株)
	齋藤 敏彦	(株)ガイアートT・K 東北支店
	清水 俊介	世紀東急工業(株) 東北支店
	杉崎 匡孝	東亜道路工業(株) 東北支社
	原 義久	(株)佐藤渡辺 東北支店
	皆川 淳一	福田道路(株) 東北支店
会計監事	齋 享	大成ロテック(株)東北支社
	田村 治	日本道路(株) 東北支店

## 【支部 委員会組織】



## 2. 表彰式

総会に先立ち、協会功労者（委員会委員、技能社員）及び安全優良工事現場代理人に対する表彰が行われました。

協会功労者表彰は5月20日、本部総会で表彰が行なわれましたが、東北支部の受賞者に対しまして支部総会の席で改めて披露するというので、来賓としてご臨席の本部三好会長から、直接本人に表彰状を授与していただきました。

安全優良工事表彰は、それぞれの現場代理人へ松谷支部長が授与しました。

(以下、敬称略)

### ①委員会委員表彰（本部表彰・9名）

秋山喜久男（㈱佐藤渡辺）	井田 悦啓（㈱NIPPPO）
大山 英郎（前田道路㈱）	小野寺正明（三井住建道路㈱）
木目澤祐二（東亜道路工業㈱）	佐藤 力（大林道路㈱）
永澤 富夫（日本道路㈱）	藤永 弥（東亜道路工業㈱）
宮本 憲治（日本道路㈱）	

### ②技能社員表彰（本部表彰・24名）

青木 米蔵（福島県南土建工業㈱）	阿部 範夫（日本道路㈱）
荒川 信行（東亜道路工業㈱）	池田 利宣（福島県南土建工業㈱）
石川 一（鹿島道路㈱）	伊藤 正治（㈱NIPPPO）
伊藤 康弘（福田道路㈱）	北畠 文雄（日本道路㈱）
工藤 雪男（前田道路㈱）	国井 義実（世紀東急工業㈱）
黒森 重男（㈱佐藤渡辺）	佐藤 恭宏（戸田道路㈱）
菅原 至（㈱NIPPPO）	杉原 俊英（日本道路㈱）
鈴木 利幸（日建工業㈱）	高谷 秀弥（東亜道路工業㈱）
玉木 和雄（福島県南土建工業㈱）	土赤 昭義（日本道路㈱）
夏堀 正博（鹿島道路㈱）	縄 秀幸（日本道路㈱）
畑山 眞也（東亜道路工業㈱）	吉田 節子（前田道路㈱）
四役 年巳（㈱佐藤渡辺）	渡辺 茂克（日本道路㈱）

### ③安全優良工事表彰（支部表彰・5名）

錦町地区改良舗装工事	石川 秀治（北川ヒューテック株）
野崎地区舗装工事	江川 史隼（日本道路株）
根城地区道路舗装工事	大久保慎也（前田道路株）
元寺小路福室線（宮城野橋工区）	
舗装新設工事（下り線）	川名 敏明（日建工業株）
是川地区道路舗装工事	島 毅（常盤工業株）



【本部表彰】



【支部表彰】

## 3. 東北地方整備局との意見交換会

総会当日の6月6日、東北地方整備局との意見交換会を行ないました。

東北地方整備局から小池局長、安藤副局長をはじめ12名、当協会本部から三好会長以下12名、東北支部から松谷支部長以下12名、計36名が出席しました。

道建協からの議題提案は次のとおりで、松谷支部長からは『三陸沿岸道路の進捗状況と今後の方針について』の提案を行いました。

#### 【道建協からの意見交換会議題項目】

##### I. 社会資本整備に関する要望・提言

1. 計画的な道路整備
2. 戦略的な道路の維持管理・更新
3. 道路建設業の活性化

##### II. 制度等に関する要望等

###### II-1 入札契約等に関すること

1. 長期保証制度の評価制度について
2. 総合評価における配置技術者の能力評価について
3. 民間の技術力を活用する方式について
4. 維持・修繕工事に係わる契約方式について
5. 交通誘導警備員の価格の見直しについて
6. 施工パッケージ型積算方式について

###### II-2 工事受注の課題について

1. 工事発注の平準化、適正な工事期間の確保について
2. 維持管理工事の歩掛・積算の見直しについて
3. 新規・異業種工種を追加変更する場合について
4. 工事一時中止制度の適正な運用の徹底について
5. コンクリート舗装の着実な推進及び積算基準の見直しについて

### Ⅲ. その他

1. 三陸沿岸道路の進捗状況と今後の方針について



## 4. 建設技術公開 「E E 東北' 1 4」

日 時：平成26年6月 4日（水）～5日（木）

場 所：夢メッセみやぎ（仙台市宮城野区港）

主 催：「E E 東北」実行委員会（東北地整、6 県、仙台市、NEXCO、1 0 建設業関連団体）

来場者：約12,800人

『活かそう新技術 復興から発展へ』をキャッチコピーに、「E E 東北' 1 4」が開催され298の出展者が過去最多の782技術の展示がありました。支部会員からは下記の11社が出展ブースを設け、来場者に新技術の紹介を行いました。

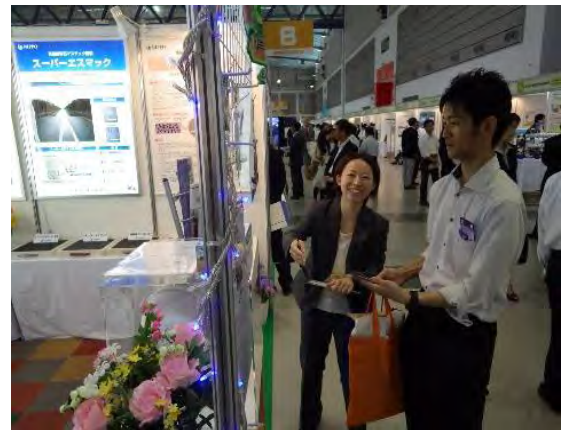
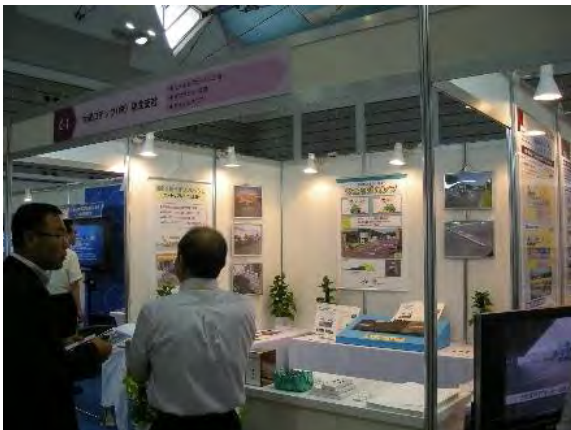
また、会場内の特設ステージでは、「復旧・復興」「建設段階」「維持管理・予防保全」「防災・安全」をテーマとした新技術プレゼンテーションも行なわれ盛況な2日間でした。

### 【新技術展示 出展会員】

- |              |            |
|--------------|------------|
| ・大林道路㈱       | ・東亜道路工業㈱   |
| ・(株)ガイアートT・K | ・(株)NIPPON |
| ・鹿島道路㈱       | ・日本道路㈱     |
| ・(株)佐藤渡辺     | ・福田道路㈱     |
| ・世紀東急工業㈱     | ・前田道路㈱     |
| ・大成ロテック㈱     |            |

【新技術プレゼンテーション 出展会員】

- ・(株)NIPPO スーパーエスマック
- ・福田道路(株) 簡易路上表層再生工法「ヒートドレッシング工法」





## 5. アスファルト混合物事前審査

第70回 アスファルト混合物事前審査委員会

日時：平成26年6月19日（木）

場所：ハーネル仙台

3月に申請のあった26混合所439合物の審査を行い、全ての混合物が認定されました。また、平成25年度に実施した共通試験の結果を報告しました。【受験者数】



## 6. 舗装施工管理技術者資格試験

平成26年度舗装施工管理技術者資格試験を6月23日（日）に実施しました。仙台では1級が東北福祉大学（ステーションキャンパス）、2級が昨年同様、東北電子専門学校の2会場で行ないました。当日は、天候にも恵まれ交通機関も順調で遅刻者などの問題も無く無事終了しました。

仙台会場及び全国の受験者数は下表のとおりです。

	1級		2級	
	一般+応用	応用のみ	一般+応用	応用のみ
仙台	419 (76%)	78 (98%)	267 (84%)	6 (100%)
全国	2,835 (69%)	649 (92%)	1,447 (80%)	70 (90%)



## 7. 平成26年度 安全環境講習会

日 時：平成26年7月16日（水）

場 所：宮城県建設産業会館 1階会議室

主 催：東北支部・安全環境委員会

参加者：約100名

（受講者 93名【会員20社】）

安全環境委員会は、「ゼロ災害」を目標に、会員各社の安全活動のレベルアップを支援するために、現場安全パトロールを中心に活動を展開していますが、その一環として毎年安全環境講習会を開催してきました。今年は全国安全週間が定められている7月中の開催としましたが、例年同様会員各社から多数の受講者がありました。

今回は、外部講師として東北地方整備局、建設業労働災害防止協会、道建協本部の三機関から工事事故防止等に関する講話をいただきました。

また、現場代理人による平成25年度優良工事の事例報告も写真を多用して簡潔で分かりやすい説明がありました。

4時間で、盛りだくさんの講習内容でしたが、皆さん最後まで熱心に聴講されていました。

“現場の皆さん「ご安全に！」”

### 1. 開会あいさつ 安全環境委員長 原 義久（抜粹）

- ・震災から3年4ヶ月が経ち、数多くの災害復旧工事が発注され、復興への動きが本格化しています。建設工事の安全確保はこれまでも、これからも大変大きな課題であり、労働災害はもちろん、交通事故、公衆災害などすべての災害ゼロを目標に会員各社の安全活動のレベルアップを積極的に支援している。想定外は言い訳でしかないということをしっかり認識し、事故を未然に防いでほしい。



- ・今年の全国安全週間のスローガン「みんなでつなぎ 高まる意識 達成しよう ゼロ災害」ですが、これは安全に関する経験やノウハウを産業の違いや世代を超えてつないでいく大切さを確認しつつ、職場の安全意識を高め、なれや過信を捨てて災害防止に取り組むこと、事業者と労働者が一体となり日々の安全活動を推進することにより、業務中の労働災害ゼロを目指していくことを表しています。

### 2. 講 話

#### (1) 「工事事故の現状と対策について」

東北地方整備局 企画部 技術検査官 安部 剛 氏

#### (2) 「重機災害の防止について」

建設業労働災害防止協会 宮城県支部 安全管理士 伊川 廣司 氏



## 対 外 活 動 (H26/5/1～)

### 1. 東北地方整備局関係

#### ① E E 東北

##### 【第2回】実行委員会

時：平成26年5月8日（木）

場 所：フォレスト仙台

出席者：松谷支部長、松澤幹事長、石井技術委員長

議 題： 1) 「E E 東北 ‘14」開催概要

##### 【第3回】作業部会

日 時：平成26年7月24日（木）

場 所：フォレスト仙台

出席者：稲辺委員

議 題： 1) 「E E 東北 ‘14」実施報告  
2) 出展者負担金精算（案）、決算（案）  
3) アンケート結果（総括）

##### 【第3回】実行委員会

日 時：平成25年7月31日（木）

場 所：フォレスト仙台

出席者：松谷支部長、松澤幹事長

議 題： 1) 「E E 東北 ‘14」実施報告  
2) 出展者負担金精算（案）、決算（案）  
3) アンケート結果（総括）

#### ②管内業務発表会

日 時：平成25年6月24日（火）～25日（水）

場 所：東北地方整備局、二日町東急ビル

本発表会は、東北地整が職員の技術力や業務能力の向上を目的に、各分野での取組事例や創意工夫事例などを発表する場として実施されてきました。

その後、発表対象を地方自治体や関係団体等に拡大するとともに、技術系だけでなく行政・経済分野も包括した東北をフィールドとした最新情報や創意工夫の発表が行なわれております。

今回は、「安全・安心」「広報戦略」「新技術」「美しい国土づくり」「マネジメント」の5テーマに88件の発表があり、支部会員から次の2件について発表がありました。発表された皆さん短期間での資料作成等御苦労さまでした。

【テーマ：新技術】（敬称略）

「縦取り式スリップフォーム工法の利点について」

（株）佐藤渡辺 大西 真

「As舗装施工目地の耐久性向上について」

大林道路（株） 濱中 和彰

（発表論文は東北地整のホームページに公開されています。）

③建設業法等の一部を改正する法律及び公共工事の品質確保の促進に関する法律の一部を改正する法律並びに国土交通省直轄工事における社会保険等未加入対策に関する説明会

日 時：平成26年7月23日（水）

場 所：ハーネル仙台

出席者：阿部委員、事務局長

議 題：（1）建設業法等改正法について

（2）品確法改正法及び運用指針策定について

（3）国土交通省直轄工事における社会保険未加入対策について

## 2. 東日本高速道路㈱東北支社関係

○NEXCO説明会及び意見交換

日 時：平成26年7月22日（火）

場 所：NEXCO東北支社

出席者：道建協：松澤幹事長、会員会社16社

NEXCO：河島技術部長、他3名

○平成26年度工事安全協議会総会

日 時：平成26年7月28日（月）

場 所：仙台市戦災復興記念館

出席者：松谷支部長

## 3. その他

○日本建設機械化協会総会

日 時：平成26年5月13日（火）

場 所：仙台ガーデンパレス

出席者：事務局長代理出席

○フォーラムがんばろう東北

日 時：平成26年7月16日（水）

場 所：秋田市 秋田ビューホテル

出席者：松谷支部長

## 幹事会・委員会活動

(H26/5/1～)

### 1) 幹事会

#### 【第1回】

日時：平成26年5月22日（木）

出席者：松谷支部長、松澤幹事長、幹事10名

（齋藤、石井、原、清水、齋、杉崎、菅野、田村、皆川、大西）

- 議事：
- 1) 活動の概況（3／5～）
  - 2) 支部長・幹事長会議報告
  - 3) 第66回支部定時総会について
  - 4) 26年度表彰者（本部表彰）  
25年度安全パトロール表彰工事推薦  
道路功労者表彰（日本道路協会）推薦
  - 5) 意見交換会議題について
  - 6) 仙台空港の災害時における協定（案）について
  - 7) 道路舗装工事における2制度への意向照会について
    - ・「長期保証」制度
    - ・「新設＋複数年性能規定付き維持補修工事」制度

#### 【第2回】

日時：平成26年7月24日（木）

出席者：松谷支部長、松澤幹事長、幹事10名

（齋藤、石井、原、清水、齋、杉崎、菅野、田村、皆川、大西）

- 議事：
- 1) 活動の概況（5／22～）
  - 2) 防災協定の体制更新
  - 3) アスファルト混合物事前審査制度の実施状況について
  - 4) 舗装施工管理技術者資格試験について
  - 5) SAFETY2013安全論文について
  - 6) その他

### 2) 広報委員会

#### 【第1回】

日時：平成26年5月14日（水）

出席者：清水委員長、齋藤副委員長、委員11名

（佐藤八、酒井、橋元、三澤、大澤、木目澤、伊藤、泉山、宮本、柴田孝、佐藤敏）

- 議事：
- 1) 平成26年度の活動計画について  
（AED寄贈・ボランティア）
  - 2) 「道建協とうほく」の発行について
  - 3) 「70周年記念誌発刊」に向けての資料収集について
  - 4) 支部定時総会の運営支援について

#### 【第2回】

日時：平成26年7月30日（水）

出席者：清水委員長、齋藤副委員長、委員10名

（佐藤八、酒井、橋元、三澤、大澤、木目澤、伊藤、泉山、宮本、佐藤敏）

- 議 事： 1) A E D 寄贈先の選定について  
2) ボランティアについて  
3) 「道建協とうほく」の発行状況について  
4) 「70周年記念誌」の発刊に向けての資料収集について

### 3) 技術委員会

#### 【第1回】

日 時：平成26年7月29日（火）

出席者：石井委員長、委員12名

（佐藤力、稲辺、橋本、吉野、山本、藤永、浅田、永澤、本間、大山、鈴木、岡）

- 議 事： 1) 平成26年度活動計画について
- ・東北地方整備局への対応
  - ・NEXCO 東北支社への対応
- 2) 発注者の動向について
- ・東北地方整備局 長期保証の話題等
- 3) 情報交換

### 4) 公共工事委員会

#### 【研究会事前レク】

日 時：平成26年5月8日（木）

場 所：東北地方整備局

出席者：委員3名（若狭、田澤、大山）

整備局 木越課長補佐、武田建設専門官、大澤課長補佐

- 議 事： 1) 不調不落対策への対応方針について  
2) 意見交換会議題（案）について

#### 【第2回WG】

日 時：平成26年5月21日（水）

出席者：委員8名（佐藤、熊本、秋山、鎌田、若狭、田澤、柴田、大山）

- 議 事： 1) 整備局との研究会議題について  
2) 本部意見交換会議題について  
3) 整備局道路部長からの懸案事項について
- ・舗装の長期保証
  - ・新設+複数年性能規定付き維持補修工事

#### 【道路建設に係る研究会】

日 時：平成26年5月27日（火）

場 所：宮城県建設産業会館

出席者：整備局 柴田技術調整管理官、木我道路情報管理官以下9名

当支部 松谷支部長、皆川委員長、齋副委員長、  
委員6名（佐藤、秋山、鎌田、若狭、田澤、大山）

- 議 題： 1) 不調不落要因と対策について
- ・発注関係について
  - ・歩掛関係について
  - ・契約手続き関係について
  - ・工事内容関係について

**【第1回】**

日 時：平成26年7月8日（火）

出席者：皆川委員長、齋副委員長、委員18名（佐藤、小池、齊藤亮、秋山、真田、手塚、新田、星野、鎌田、齊藤庄、若狭、矢島、田澤、阿部昭、阿部雅、柴田、大山、阿部淳）

議 事： 1) 平成26年度活動方針について  
2) 整備局との研究会について  
3) 本部と整備局との意見交換会について

**5) 安全環境委員会**

**【第1回】**

日 時：平成26年5月30日（金）

出席者：原委員長、田村副委員長、委員12名  
（須藤、伊藤勝、秋山、佐藤、大谷、高橋、伊藤忠、佐々木、高木、永澤、荒瀬原、北原）

議 事： 1) 安全パトロールについて  
2) 官民合同パトロールについて  
3) 安全講習会について  
4) SAFETY2014について

**【第2回】**

日 時：平成26年7月16日（水）

出席者：原委員長、田村副委員長、委員13名  
（須藤、伊藤勝、秋山、佐藤、大谷、高橋、伊藤忠、佐々木、鈴木、高木、永澤、荒瀬原、北原）

議 事： 1) 安全講習会について  
2) 官民合同パトロールについて

**6) 防災委員会**

**【防災体制更新提出】**

日 時：平成26年6月19日（木）

出席者：新田委員、事務局長

提出先： 1) 東北地方整備局  
2) NEXCO 東北支社

**【第1回】**

日 時：平成26年7月1日（火）

出席者：杉崎委員長、委員11名

（伊藤勝、鈴木、高野、金安、新田、鎌田、伊藤忠、佐々木、井田、神林、大山）

議 事： 1) 平成25年度活動状況について  
2) 平成26年度活動方針について



## その他の活動 (H26/5/1～)

### 1) 支部長・幹事長会議

日 時：平成26年5月20日（火）

場 所：グランドアーク半蔵門

出席者：松谷支部長、松澤幹事長

議 事： 1) 平成26年度 支部総会について  
2) 地方整備局等との意見交換会について

### 2) 第66回 本部定時総会

日 時：平成26年5月20日（火）

場 所：グランドアーク半蔵門

出席者：松谷支部長、松澤幹事長、事務局長

次 第： 1) 舗装技術に関する懸賞論文入選者表彰  
2) 協会功労者等表彰  
3) 総会議事  
4) 講演：講師・大石 久和 氏（元国土交通省 技監）

## 道建協「#9910」レポーター 活動へのご協力をお願い



#### ■通報方法

「道路緊急ダイヤル」#9910(通話料無料)

道路緊急ダイヤルに連絡するとガイダンスが流れるので、  
高速道路「1」、一般国道「2」をプッシュする。

#### ■通報内容

- ・『いつ』
- ・『どこで(どこが)』：キロポストや目印に建物・施設など
- ・『なにがあったか(どんな状況か)』
- ・『氏名』：通報の際は、道建協会員の社員であることがわかるように、  
「道建協会員〇〇会社の△△です。」と言って下さい。

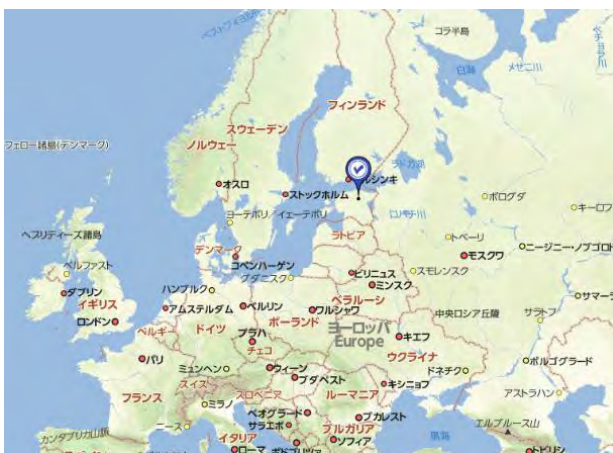
※通報した場合には、道建協事務局に連絡(報告)をお願い致します。

『我が家の国際交流』

公共工事副委員長 齋 享  
 (大成ロテック(株) 東北支社)



今年1月、知人の依頼で50代のエストニア男性2人のホストファミリーを受けました。合唱団所属の彼らは合唱を通して国際交流をするのです。仙台に到着して間もなく対面した時、私の不安が的中。日本人と違う体格です。あ〜だから言ったのに…。数日前「布団短くないか？」と心配する私に、妻は「大丈夫」と自信満々。相も変わらず楽観的です。(結局彼らは布団から足をはみ出して寝る羽目になってしまったのです。)夕食は居酒屋でと考えていましたが、彼らの体格を見て“びっくりドンキー”の特大ハンバーグにしました。2人とも箸を上手に使って食べました。彼らは初め緊張した様子でしたが、その後はフレンドリーで笑顔が絶えませんでした。私は英語が話せないで妻からエストニアのA氏に伝え、A氏がB氏にエストニア語で伝える繰り返しです。話を皆が共有するのに時間が掛かります。しかし程無くボディランゲージを使ったりして、話が弾み賑やかで楽しい時間となりました。彼らは大きな声で話し良く笑います。一方で以外な発見も。トイレに行く廊下などの常夜灯が朝気が付くとすべて消してありました。「無くてもOKだから」と。エコの心に感心しました。彼らは帰る日、教えた日本語「ありがとう」を何度も言って手を振り帰って行きました。



【エストニア viru 旧市街】

# 会員だより

## 『大自然とのふれあい「山への誘い」』

(株)加賀田組 東北支店長  
久保田 勝



吹き飛ばされそうな雨風の中、必死の思いで登頂果たした知床羅臼岳。ミヤマキリシマの見事な咲きっぷりで山肌一面ピンク色に染まる、初夏の大分九重連山。9合目から胸突き八丁で青息吐息の最果ての利尻富士。猛烈なる風雨で身の危険を感じ、8合目で登頂断念した最南端屋久島宮之浦岳…

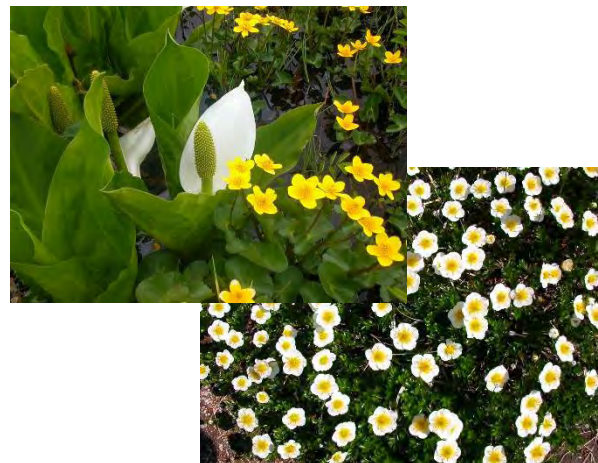
ちょうど10年前、50歳を機に今まで未経験の「何か」をやりたいと模索していた頃、学生時代の仲間から誘われて故郷：新潟の某山へ。山野草を見ながら新緑のブナ林を抜け、山頂下の残雪を登りヤットの思いで無事登頂。山頂からの360°大パノラマを堪能しながらキンキンに冷えたBEER。そして下山後の麓の温泉で“まったり”…見事にハマりました。世の中「こんなにも楽しい遊びがあったのか？」正直そう思いましたね。

近頃は第一線を退いた団塊世代のオッサン&オバちゃん族の山ブーム、数年前からの山ガールと称される女子大生や二十代、三十代OLで季節を問わず登山者が増加。連日のようにBSチャンネルで「日本百名山」が放映され、ブームにますます拍車をかけています。

山登りは健康維持のためのスポーツという側面のみならず、山野草等植物観察、野鳥・小動物など野生動物観察、麓の温泉三昧、地理・歴史の勉強など「多面的なひとつの文化」ですね。それと山登りを長く楽しむには、自身の健康管理と良き仲間がいること。でも、これって健全なるライフスタイルを送るためにピッタリ当てはまると思いませんか…？

東北にも飯豊山、磐梯山、安達太良、月山、鳥海山、栗駒山、早池峰、八甲田等魅力的な山が豊富。山々が最も美しく輝き、登山者を優しく受け入れてくれる夏シーズンの到来です。さあ皆さんも、まずは近郊の山からチャレンジしてみてはいかがでしょうか？

「至上の達成感や喜び、奥深さを知ることができますよ…」



【木曾駒ヶ岳：千畳敷カール花畑】

## 『荒 行』

戸田道路(株)東北支店

取締役支店長 近郷 敏郎

3. 1 1「東日本大震災」の翌年、被災でお亡くなりになられた大勢の方々のご冥福と会社のますますの隆盛、社員の士気の向上と健康を祈願するため、2012年1月15日宮城県栗原市一迫長崎地区小僧水神社不動の滝に於いて開催される神事「不動の滝寒中みそぎ」に、東北支店女性を含む総勢11名で参加致しました。開始時間夜7時に合わせ集会所に集まり、温かいうどん、そばをご馳走になり、男はふんどしに足袋、女性はさらしを巻き、白装束姿にお召し替えです。これから始まる未知の体験に期待と不安と覚悟で身の引き締まる思いのなか出発の時を待ちました。参加者は女性5名、男性31名と伺い、周りを見渡しても当然、私が一番の年長者(63歳)かと思っていたところ、何と!64歳の方がおり、大変驚きました。その方は、毎年全国の荒行に参加されていると聞き、その気迫に圧倒されながら俄然やる気が湧いてきました。出発前に寒中みそぎ中、どんな事故があっても主催者側は一切責任を負いません、との内容の書面に一瞬ペンを持つ手が止まりかけましたが、気を取り直して署名をし、外気温-3度、水温+3度の一面白銀の世界へ・・・いざ出発!

神輿を担ぎ1.6キロメートルの積雪の山道を小走りに滝壺まで声を掛け合いながら登り、神社に到着した頃には足先の指の感覚を失うほど身体中冷え切っていましたが、お互いに仲間意識が強くなり励まし合いながら滝壺へと進んで行きました。滝壺の廻りに36名が並び船の櫓を漕ぐイメージで姿勢をとり、祈りのかけ声を掛けながら準備体操と気合いを入れます。9名づつ4グループになり、各グループごとに一斉に滝壺に入ります。桶で頭から滝水をかぶり、約7メートルの高さから流れ落ちる小僧不動の滝に全身打たれます。心なしか意外にも水に浸っている時は暖かく(拍子抜け!?)感じました。3回滝壺に入りますが、濡れた身体で次ぎの順番を待つ間が一段と寒さが身にしみて当社女性社員と男性社員1名は1回でギブアップ!残り9名で寒中みそぎを最後まで無事終えることが出来ました。何ともいえない達成感と安堵感で意気揚々と集会所に戻ると、温かい豚汁が用意され、冷え切った身体を温め地元の方達と四方山話をしながら、まだまだ私も我が支店の社員達の根性も捨てたもんじゃないな～と関心した次第です。

寒中みそぎの御利益でしょうか・・・この年は東北支店全員風邪を引くことなく過ごすことが出来ました。是非、皆様にお勧めしたい荒行です。(あくまでも自己責任で・・・)

後日談として、毎年寒中みそぎに参加している方が滝の写真を撮影したところ、今年も龍が滝を昇る姿が映し出されていました・・・見守ってくれていたのでしょうか・・・信じるか否かは・・・感謝を込めて合掌



## 『EE 東北への期待』

(株)NIPPON 東北支店

山田 和弘

今年もEE東北’14が盛況に開催されました。まさに盛況という名にふさわしい賑わいだったと思います。

私にはこの建設フェアに対する期待・目的が大きく3つあります。一つ目は当然ながら自社技術をアピールすることです。当社の技術をひろく知ってもらい、技術力で工事の受注に繋げることができれば最高ですが、世の中そんなに甘かろうはずがありません。

二つ目は他社の方々と交流と新技術の情報を収集することです。とくにこのような展示会には異なる業界からも多くの出展がありますので、異業種の方々とも伝手をつくる絶好のチャンスです。何かのときに役に立つ、ということが今まででも多々ありましたので、興味のあるブースや今後何らかの形でお世話になりそうなブースをできるだけたくさん訪問し、そのときに備えられたなら、と思います。

三つ目は、とくに最近気にかけるようになったのですが、それは、うちの会社のファンを作ることです。公共工事を主に担ってきたためか、いままで“ファンを作る”、“会社の宣伝をする”ということあまり考えたことがありませんでした。しかし、人材不足に悩まされ、新入社員も思うように集まらない昨今、人材の獲得は喫緊の課題です。それを解決する手段のひとつとして、まずは自分の会社を世間に知ってもらうことだと思います。一般の方々にとっては当社を「聞いたことがない」という方がほとんどだと思います。聞いたことがなければその会社が何をしているかもわからず、魅力も感じません。そうすると、たとえば就職活動時の会社選びの土俵にものらないでしょう。まずは知ってもらうことから始めようと、最近はこのフェアをリクルートの一環としても活用しています。

これからもこのフェアに期待することが多種多様になってくると思います。いろいろな意味で出展者、来場者が相互に活用し合い、建設業界全体がますます活気づけばと思います。

# 編集後記

## 道建協とうほく No. 57 担当

宮本憲治（日本道路㈱ 東北支店）

泉山 匠（㈱NIPPPO 東北支店）

平成26年度、3回目の広報誌発刊に際し、大変お忙しい中、ご寄稿いただいたみなさま、ご協力本当にありがとうございました。

暑い日がつづいておりますが、ますます麦酒の味が冴えわたってきます。

さて、この前ある現場での小学生対象の見学会でお話をする機会がありました。道路のつくり方、その材料、機械などを説明し、最後に道路は人間の体に例えると、大事な栄養を運んでくれる“血管”なんだよということを付け足して終了しました。

数日後、その小学校のみんなから、見学会のお礼の手紙をいただきました。敷き均す機械や、締固める機械あるいは、石粉、ストレートアスファルト、碎石に興味を覚えたようでした。その中に、道路を血管に例えたお話がとても面白かったという感想がたくさんあり、わたしの話をしっかり受け止めてくれていたのだと、うれしく思いました。また同時に我々が従事しているこの仕事が、いかに大切なものを再認識させられました。

この稿が読まれる頃は、4年に一度のFIFAワールドカップも終わっていることと思います。予想外の試合やこの舞台でしか見られないすばらしいプレイを楽しみました。どの試合も選手たち一人ひとりが、真剣になってひとつのゴールを目指している姿は、本当に感動を覚えます。我々も安全というゴールに全員一丸となって向かい、是非とも労働災害をなくし、大切な血管を作り続けて行きたいと思います。

